

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月22日 (2010.7.22)

【公開番号】特開2008-304636(P2008-304636A)

【公開日】平成20年12月18日 (2008.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-050

【出願番号】特願2007-150815(P2007-150815)

【国際特許分類】

G 0 3 B 17/14 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

G 0 2 B 7/36 (2006.01)

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/14

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 2 B 7/11 D

G 0 2 B 7/11 N

G 0 3 B 3/00 A

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/232 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月7日 (2010.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

交換レンズの着脱が可能な撮像装置であって、  
装着されている交換レンズから取得したフォーカス距離に関する情報を記憶する記憶手段と、

前記交換レンズが該撮像装置から取り外された後も前記記憶手段に前記フォーカス距離に関する情報を保持させる記憶制御手段と、

前記交換レンズにより形成された被写体像を光電変換する撮像素子と、  
該撮像素子を用いて得られた映像のコントラスト状態を示すフォーカス評価信号に基づいて前記交換レンズのフォーカス制御を行うフォーカス制御手段と、を有し、

前記フォーカス制御手段は、前記記憶手段に第 1 の交換レンズのフォーカス距離に関する情報が保持されている場合において該撮像装置に第 2 の交換レンズが装着されたときは、該第 2 の交換レンズに、前記記憶手段に保持されている前記フォーカス距離に関する情報に対応したレンズ位置の方向への動作を行わせてから前記フォーカス制御を行うことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記撮像素子を用いて得られた映像を表示する表示手段と、

前記表示手段での前記映像の表示中に前記第 1 の交換レンズが該撮像装置から取り外さ

れた場合は該映像の表示を中断し、前記第 2 の交換レンズが該撮像装置に装着された後、該第 2 の交換レンズが前記フォーカス距離に関する情報に対応したレンズ位置の方向への動作を行った後に前記映像の表示を再開する表示制御手段とを有することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の撮像装置に着脱可能な交換レンズであって、  
レンズ位置を検出し、検出されたレンズ位置に基づいてフォーカス距離に関する情報を生成する情報生成手段を有し、  
該フォーカス距離に関する情報を前記撮像装置に対して出力することを特徴とする交換レンズ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の一側面としての撮像装置は、交換レンズの着脱が可能な撮像装置であって、装着されている交換レンズから取得したフォーカス距離に関する情報を記憶する記憶手段、前記交換レンズが該撮像装置から取り外された後も前記記憶手段に前記フォーカス距離に関する情報を保持させる記憶制御手段と、前記交換レンズにより形成された被写体像を光電変換する撮像素子と、該撮像素子を用いて得られた映像のコントラスト状態を示すフォーカス評価信号に基づいて前記交換レンズのフォーカス制御を行うフォーカス制御手段と、を有し、前記フォーカス制御手段は、前記記憶手段に第 1 の交換レンズのフォーカス距離に関する情報が保持されている場合において該撮像装置に第 2 の交換レンズが装着されたときは、該第 2 の交換レンズに、前記記憶手段に保持されている前記フォーカス距離に関する情報に対応したレンズ位置の方向への動作を行わせてから前記フォーカス制御を行うことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】